

テーマ1 子どもたちの生活習慣・規範意識の確立に向けて

〔提案理由〕

- ・ 基本的な生活習慣が確立されている子どもたちの学力は、確立されていない子どもたちの学力と比べると高い傾向にある。
- ・ また、規範意識が高く、協調性や公共の精神、社会参画意識に富み、学校や地域で良好な関係を築くことのできる子どもたちの学力が高い傾向がある。
- ・ このようなことから、基本的な生活習慣を確立させ、学校・地域で良好な関係を築くことのできる規範意識や協調性・公共の精神を高めることは、子どもたちの将来を支える基盤作りであり、そのためには学校・家庭・地域がそれぞれの役割を十分に認識し行動するとともに、相互に連携していかなければならない。

〔県民の声〕

- ・ 基礎・基本とは生活時間帯のコントロール力を身につけさせること。生活時間帯を子どもに意識させ、定着させることが大切。学力・体力を支えるのは基本的な生活習慣である。
- ・ 元気な高齢者の方の知恵をいただき、まず子育て世代を育てなければならない。
- ・ 核家族化で家庭では難しくなった世代間交流を、地域との関わりの中で経験させることによって子ども自身が育っていく。今は、親と子どもが育ち合う環境というのが出来ていない。
- ・ 人を育てるには、家庭、学校、地域社会がそれぞれの役割に応じた責任がある。それぞれに何ができ、何を希望するかを明らかにして、その理想像について議論して欲しい。

〔議論のポイント〕

（1）家庭に対する行政の施策・支援について

- ・ 子どもたちの基本的な生活習慣を確立するために、行政が家庭に対してどのような支援ができるのか。 ※おおいた「親学のすすめ」、父親のPTA参加促進 等

（2）地域社会に対する行政の施策・支援について

- ・ 地域の人材を結集して、子どもたちの規範意識や協調性、公共の精神などを高めていくために、行政として地域社会にどのような支援ができるのか。
※放課後子ども教室（学びの教室 H21～） 等

（3）学校・家庭・地域の連携について

- ・ 学校と家庭・地域（PTA・自治会等）がうまく連携・協働するために、行政としてどのような支援ができるのか。 ※学校支援地域本部（校区ネットワーク会議）等

〔議事概要〕

（親・家庭の役割）

- ・ 「親が変われば、大人が変われば、子供が変わる」ということをよく耳にするが、逆に子どもが育つ（仲間意識等）ことによって、お母さんの表情、親の表情が随分変わってくる。子どもに対する教育を通して、大人自身が教育されているという、事実の認識が大事。
- ・ 家のルールを守ることが社会に出てからの規範意識につながる。ルールづくりのファシリテーターとしての役割を両親・家族に担ってもらいたい。
- ・ 親がどこまで子どもに任せられるのか、どこまで手を出さないのか。子どもに任せることで、最初は失敗するかもしれないが、責任転嫁をしない子どもを育てていくということにもつながる。そういう力を子どもにつけさせる「親の力」が大事。
- ・ PTAに父親部会をつくることで、これまで母親まかせであった子どもや学校に対する関わりを、父親が持ち始めた。

(地域社会の役割)

- ・「しつけ」には親の影響が大きいですが、親だけの問題ではなく、地域社会との関わりの中で規範意識・生活習慣を身につけさせていく視点も大事。
- ・価値観が多様化する中、地域や親同士の関わりというものを、今一度見直してみたらどうか。
- ・地域とのかかわりが欠落した形での「しつけ」が、いまの子どもの生活習慣・規範意識の欠如といった問題として現れているのではないか。
- ・縦の年齢がスムーズにつながるような、地域での仕組みづくりが必要。
- ・家庭は子どもにとってのベースであるが、それを取り巻く地域というものをどう形作っていくのか、行政がそれに対してどのようにサポートできるのか。仕掛け人・ファシリテーター的な役割を行政に期待したい。
- ・地域と関わっている子どもは、地域の方が学校に来て、いろいろ教えてくれるのを歓迎するし、地域活動にも一生懸命参加しようとする。
- ・小学校区単位で地域の人たちが集まり、学校を中心とした地域づくりを考えるというのが、運動としては一番やりやすいような気がする。

(親・家庭への啓発)

- ・早寝、早起き、朝ご飯運動をもう少し親に浸透させて、早寝早起きすることによって健康な生活になるんだよ、ということをアピール・啓発することが必要。
- ・就学前の子どもを持つ親を対象に、1年に1回でも2回でも良いから、ごくオーソドックスな話を理解してもらおう。そういう基本的なパンフレットを作って、全ての親に聞いてもらおう。親・家庭の役割に関する「常識」的な認識が共通基盤になると、随分違ってくると思う。